

2009
学生・企業
まちなかサロン
ダイジェスト

会社つくるの
難しいですか？

会社の
選び方って？

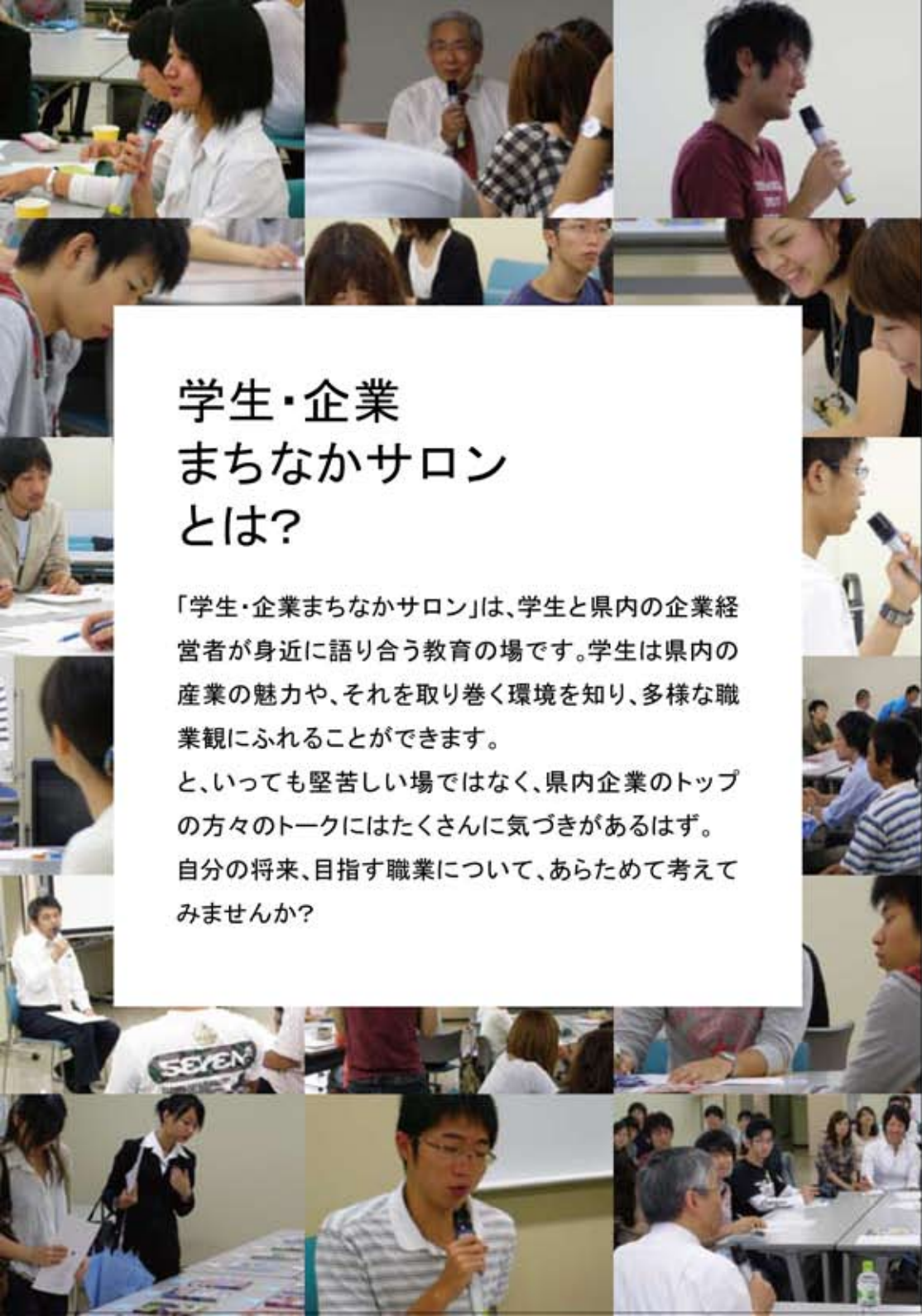
就職観が
アツプする！
社長と学生の
ホンネトーク

夢の持ち方
教えて！

どうやったら
社長になれるの？



大学コンソーシアム石川



学生・企業 まちなかサロン とは？

「学生・企業まちなかサロン」は、学生と県内の企業経営者が身近に語り合う教育の場です。学生は県内の産業の魅力や、それを取り巻く環境を知り、多様な職業観にふれることができます。

と、いっても堅苦しい場ではなく、県内企業のトップの方々のトークにはたくさんに気づきがあるはず。自分の将来、目指す職業について、あらためて考えてみませんか？

参加企業 Company profile



中村酒造株式会社
代表取締役社長 中村太郎氏
「金沢の伝統の力」

the president #01



のと共栄信用金庫
理事長 大林重治氏
「半世紀を振り返って」

the president #02



三谷産業株式会社
代表取締役会長 三谷 充氏
「会社と社員がさらに幸せになるために」

the president #03



株式会社ぶどうの木
代表取締役社長 本 昌康氏
「働くことの心構え」

the president #04



能登印刷株式会社
代表取締役社長 能登隆市氏
「創る力と、伝える技術
コミュニケーション・テクノロジーを拓く会社に」

the president #05

新しい自分と、
もっと自分を
知ることが
出来た。

【3年：男】

やっぱり、直接
お話を聞けると
ワクワクします。

【3年：女】

経営者の方は、
いろんな考え
方をもっている
んだと思った。

【1年：男】

早目に目標を設定し
て動き出すこと。決
めたことをきちんと
実行していかなくて
はいけないと思った。

【3年：女】

自分も社会の役に
立つ人になるため
に、学生のうちに
多くのことを学ば
うと思いました。

【3年：女】

私の考える企業の
トップの印象とはだ
いぶ異なる印象を
受け、興味深く話を
聞くことができた。

【1年：男】

全体(自分の将来)を
見渡す目と、ささいな
ことに気付く目の両方
を持つ人間の長所を
生かして、自分を見つ
め直し就職活動を行
いたいと感じました。

【3年：女】

お客様だけでなく、
職員の意志も
大事にしている
ということに驚
きました。

【4年：男】

まちなかサロンに参加した学生たちから、就活の視点が変わってきています！

本当におもしろく、自分でも
驚くほど集中
して聞けた。

【3年：女】

就活を頑張ろうとい
う気持ちになれたし、
どういう企業を選べ
ばいいか考えること
ができました。

【3年：女】

私は就職活動を終えて
いますが、気が振けて
いたところに再び「やる
気」「夢へすすむこと」を
思い起こしてくれました。
とてもためになりました。

【4年：女】

自分の頭で考えて行
動のできる大切さ、ま
たそれで失敗しても
価値があると云った
事には、とても感銘を
受けました

【M1：男】

お客さんに対
する気持ちの
姿勢がすごい
と思った。

【1年：女】

普段の生活の中
でも、相手に対する気
遣いだとか、共感す
ることをもっと考え
ていきたいと思った。

【1年：女】

人間的にも成長
できそうなども
貴重なお話をた
くさん聞くことが
できた。

【3年：女】

人は人を幸せに
するために生ま
れてきてくると
いう言葉が心に
残った。

【2年：女】

Q 社長のお話を伺い、これからは世界的な視点を持つことが非常に大切だと感じました。

社長ご自身はどうやってその価値観を手に入れたのか教えていただけますか？

A 2つあります。一つは、先ほども言ったとおりで「人に会う」ことです。人と会い、人から話を聞くことによって、自分で考える機会にもなり、その考えることが経験に変わっていくのです。

それともう一つは、「自ら外へ出る」ということです。私は仕事だけでなく、遊びも含めて年に何回かは海外や東京に出かけていますが、色々なところに行って情報を得ることがとても自分の為になっていると思っています。そこで得た情報を後で自分なりに整理し、自分の価値観、自分の言葉にしていくことで広い視野を持てるようになっていきます。いろいろな人のお話を聞き、自ら動いて、自分の感覚でとらえていく。この2つが世界的な視野を持つために先ず大切な2つだと思います。

Q 「目指すは1ランク上(自分づくり)」というお話がありましたが、自分自身に対してはどのようなワンランク上の設定をされているのでしょうか。

A 例えば、人事異動で今日、支店長代理に昇進したとして、「おめでとう」という言葉は多くかけられるだろうけど、その言葉の本当の意味は「君は今日からは次長に向かって歩むのだぞ」「副支店長に向かって歩むのだぞ」という意味なのです。要は支店長代理で安心するのではなく、絶えず目標を上へ上げていかなければいけないということです。これからは次長に向かって歩むという次の課題が待っています。「これでやることはない」「やることはすべてやった」「みんなに追いついた」と、安心しては必ず気持ちが萎えてくると思うし、気持ちが萎えるということは意識も低くなり、成績も上がらなくなります。向上心を持って何事も前向きにとらえていくことが大事だと思います。

また、自分づくりというのは、ただ単に上に上がりたいというだけではなく、スキルアップの努力をその人自身が実際にやらないと駄目だと思います。私自身がワンランク上の自分づくりのために何をしているかという、実際はそんなに出来ていないのですが、日常的に出来るだけ本を多く読むようにしています。

A 上の人と衝突しても大きな問題にはならないし、上司もずっと同じでもないから、そんなことで思い悩む必要はないですよ。それよりも上司だけでなく、例えば同じようなレベルの人や、さらにちょっと上のレベルの人があなたのことを見えています。僕だって、若手の社員の人を何人も見えていますし、その人たちがどういう覚悟で仕事をしているかというところに目を向けます。

指示をされるまで待っている人は押してあげないと動かないわけですが、押す人間が別に必要ということは、それだけ無駄が生じるわけです。逆に自分で考えて動ける人はその予測が間違っていたとしても、「すみません、私、こう思ったのです」と理由がきちんと言えて、なるほどこういう理由で間違えたのだと分かればいい。まして新入社員のころは、あなたの失敗で会社がつぶれるということはありませんので、失敗を思い悩むよりは、たくさん失敗した方がよっぽどプラスです。そりゃあ、失敗すれば怒られる。でも、その失敗は会社の費用を使ってあなたが勉強をしたと思えばいいんだよ。

Q 指示待ち人間が困るというお話でしたが、私は自分が良いと思ったことでも、それが上の人の意思にそぐわないかもしれないと思えば、止めたほうがいいのではと感じてしまうのですが。

A 簡単な答えですが「素直であるかどうか」ということを大切にしています。つまり企業風土というのがあるのです。その会社に合うか合わないか。すごく体育会系のところもあったり、非常にソフトな感じのところもあったり、会社によっていろいろな企業風土があるのですが、その風土になじんでくれるかどうかなのです。「ぶどうの木」という企業風土になじめるかどうかは、やはり素直であるかどうかです。素直というのは、ただ人の言うことに従うだけが素直ということではなく、心の柔軟さがあって人の言うことはともかく受け入れてみようという気持ちがあるかどうか。素直な人はその中から自分の答えをしっかりと出していこうと出来ますし、そういう人が必要な人といえます。ところが、最初から斜に構えて、ふんつという受け答えをする人は我が社の風土には合いません

一番大切なのは、能力が高い、低いという問題よりも、素直であるかどうかというが大切だと思って、面接の際にはそういうところを重要視して見えています。

Q 従業員を雇うときの面接などでは、どのようなことを一番重要視して選ぶかを教えてください。

大学コンソーシアム石川は、石川県内の全ての高等教育機関（大学、短期大学、高等専門学校）、県内全ての自治体、経済団体が連携して、教育交流、情報発信、調査研究等を行い、高等教育の充実・発展及びに地域社会の学術・文化・産業の発展に寄与することを目的として、平成18年4月1日に設立されたものです。

開催情報

2010年度の「学生・企業まちなかサロン」開催情報をご希望の方は、大学コンソーシアム石川事務局まで、「学生・企業まちなかサロン開催情報希望」と書いてメールでお申し込みください。



〒920-0962 金沢市広坂2丁目1-1

TEL:076-223-1633 FAX:076-223-1644

E-mail: info@ucon-i.jp URL: http://www.ucon-i.jp

大学コンソーシアム石川

検索

